

下水道コンセッション事業の成果（浜松市）

<事業概要>

対象事業： 処理場(1か所)・ポンプ場(2か所)(西遠処理区＝浜松市内最大処理区)の維持管理・機械電気設備改築更新
事業期間： 20年間(平成30年4月事業開始)
運営権者： 浜松ウォーターシンフォニー株式会社(ヴェオリア・ジャパン、ヴェオリア・ジェネッツ、JFEエンジニアリング、オリックス、須山建設、東急建設が設立した特別目的会社)
提案VFM： 14.4%(総事業費(現在価値換算後)が約600億円 → 約514億円へ縮減)
運営権対価： 25億円

<運営権者の取組と効果>

1. 運営権者による修繕等の内製化

保安全管理費を約**43%削減**(令和元年度)
(浜松市想定コスト6.46億円⇒3.68億円)

2. 運転管理の最適化による節電・投入薬品等の節約による環境負荷の低減

・エネルギー消費原単位： **3.9%減**(平成29年度→令和元年度)
・ユーティリティ費を約**32.7%削減**
(浜松市想定コスト6.50億円 ⇒ 4.37億円)

3. 地域貢献活動

- ✓ 長期契約による正規雇用増加
- ✓ 下水道ふれあいイベントの開催等

委託業者/運営権者の従業員における正規雇用の割合：
平成29年度末 74%(46名中34名)
→ 令和元年末 **93%**(45名中42名)

<特徴的な取組>

- ・ **スマートフォンを活用**した点検業務の効率化
- ・ **国際下水道セミナー**の開催(第1回への来場者数は106名)
- ・ 維持管理と改築の**一体的な実施**
- ・ 地域活性化に貢献する**起業家支援**プログラムを実施

<視察への対応>

行政・企業等から約**800名**が視察
(平成30年4月1日
～令和2年2月21日)